

新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 11月15日～11月21日

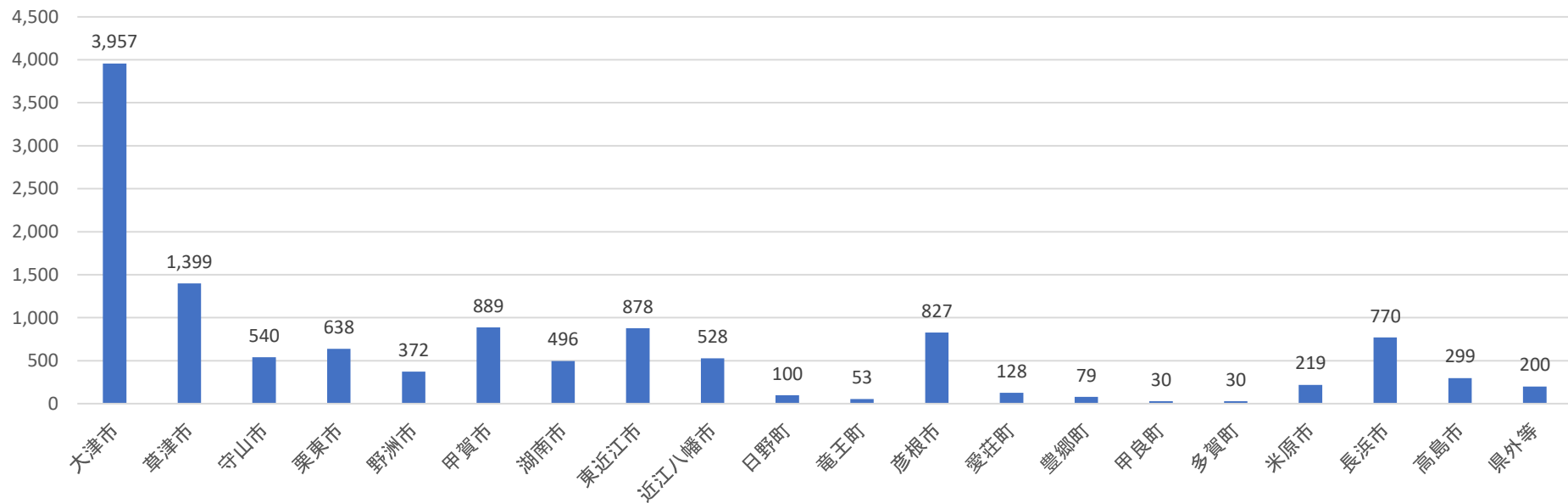
11月23日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

1) 県内の陽性者発生状況

	新規感染者数
今週の報告数(11/15～11/21)	13人
累計(11/21時点)	12,432人

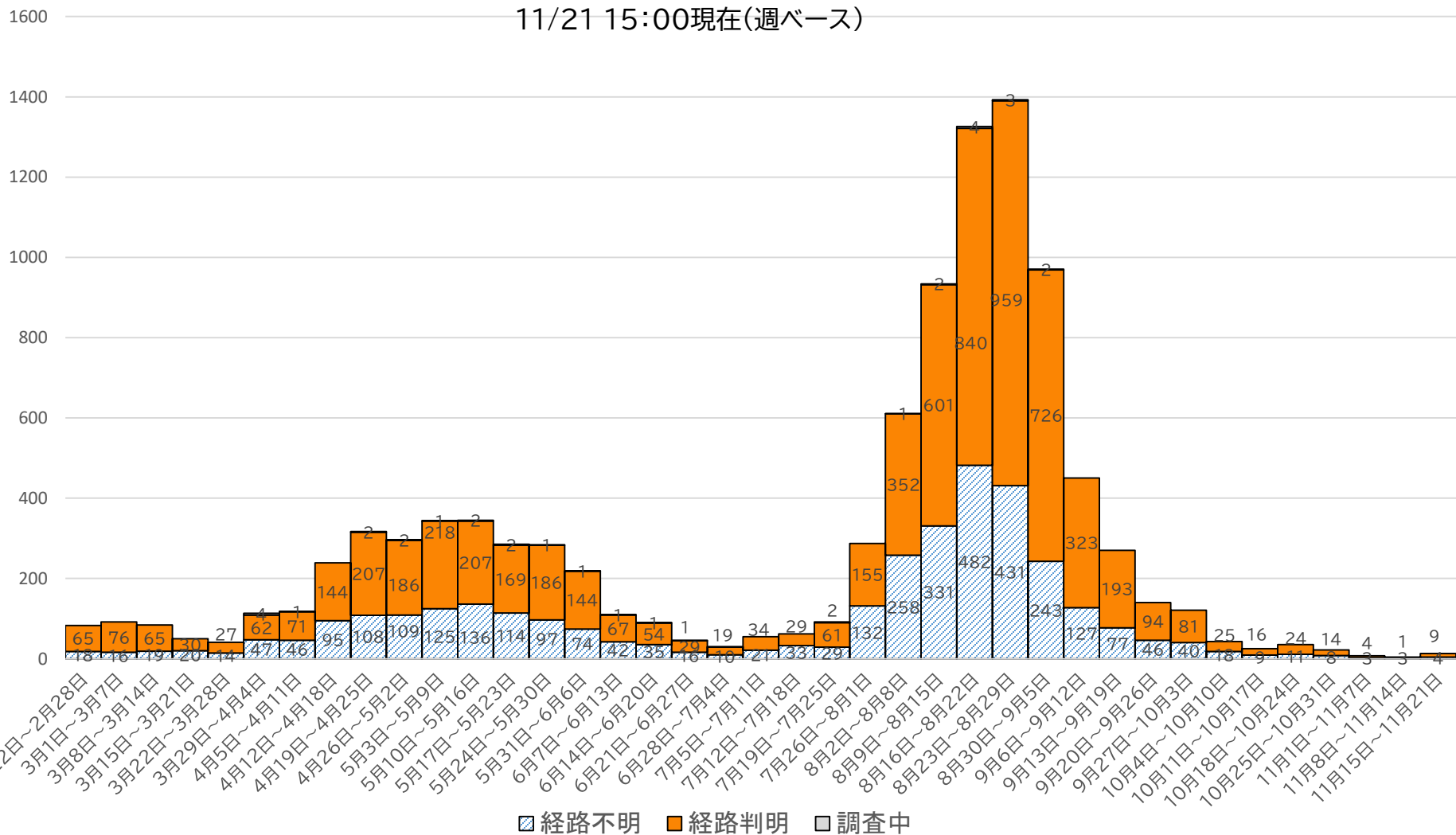
2) 市町別の累計陽性者発生状況



3) 県内の感染動向

① 流行曲線(公表日別)(11月21日現在)

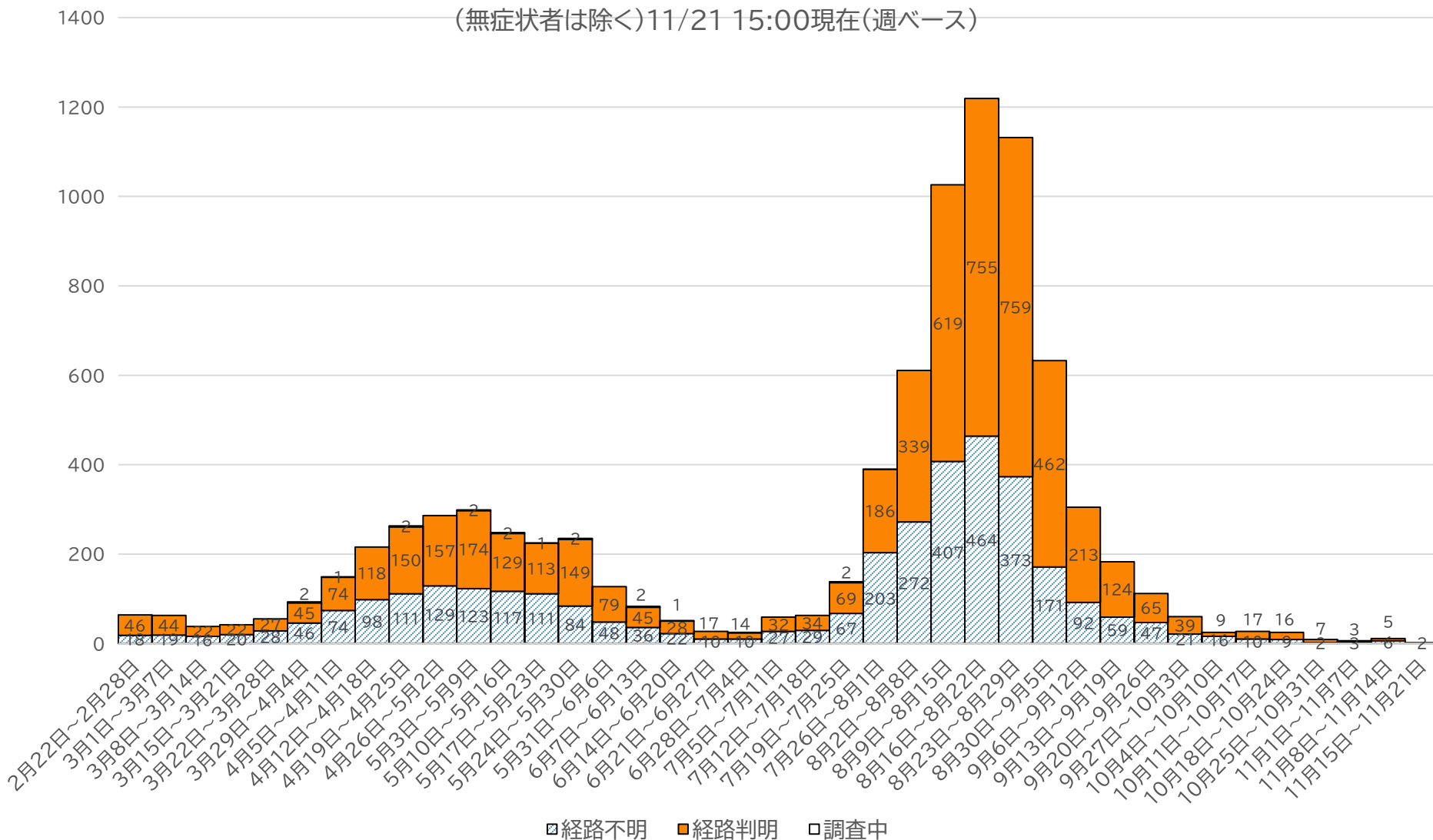
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(公表日別)
11/21 15:00現在(週ベース)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(11月21日現在)

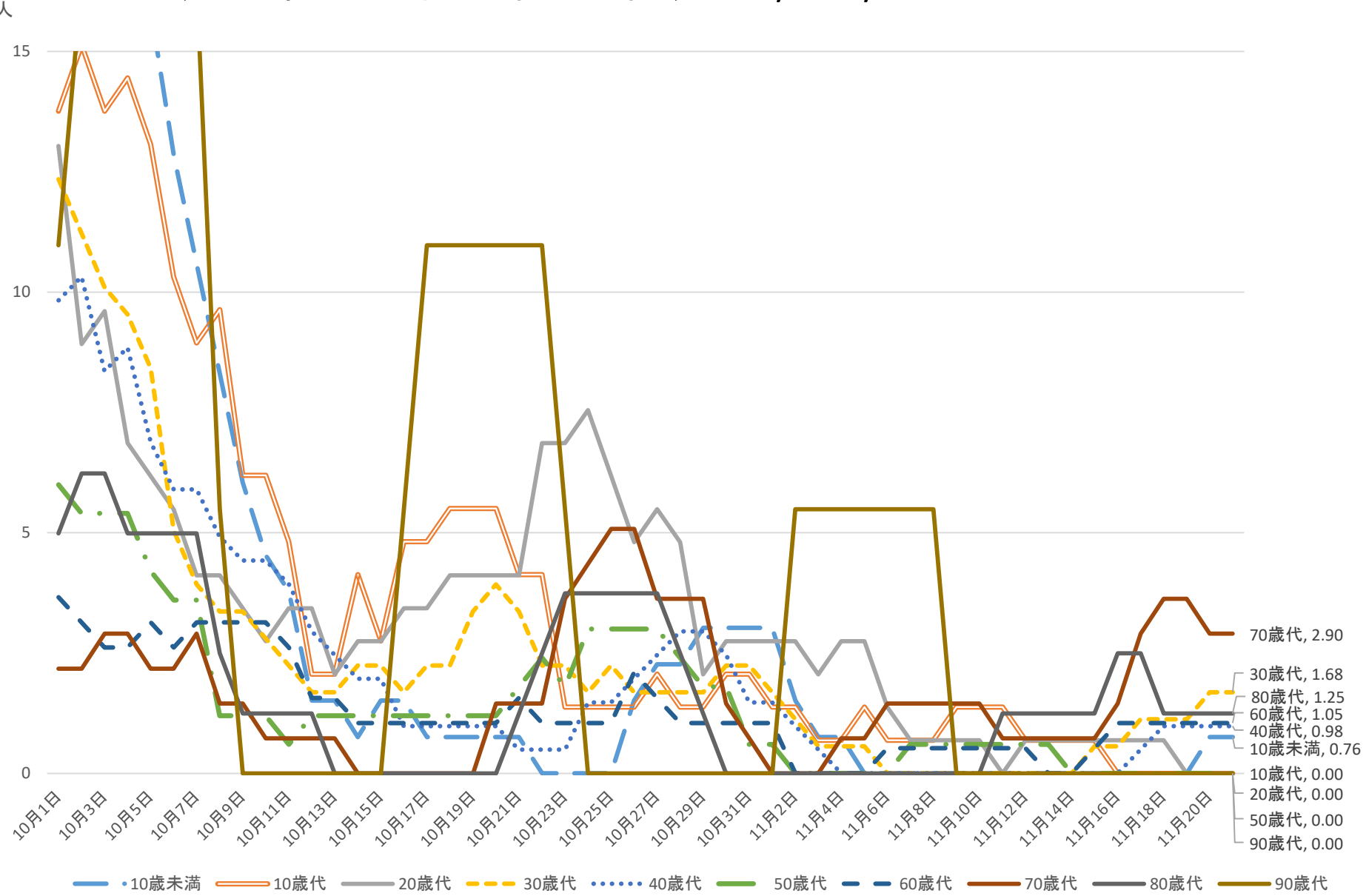
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)11/21 15:00現在(週ベース)



注)無症状者を計上していません。今後11/21以前に発症した患者が届出されることがあります。

4)年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

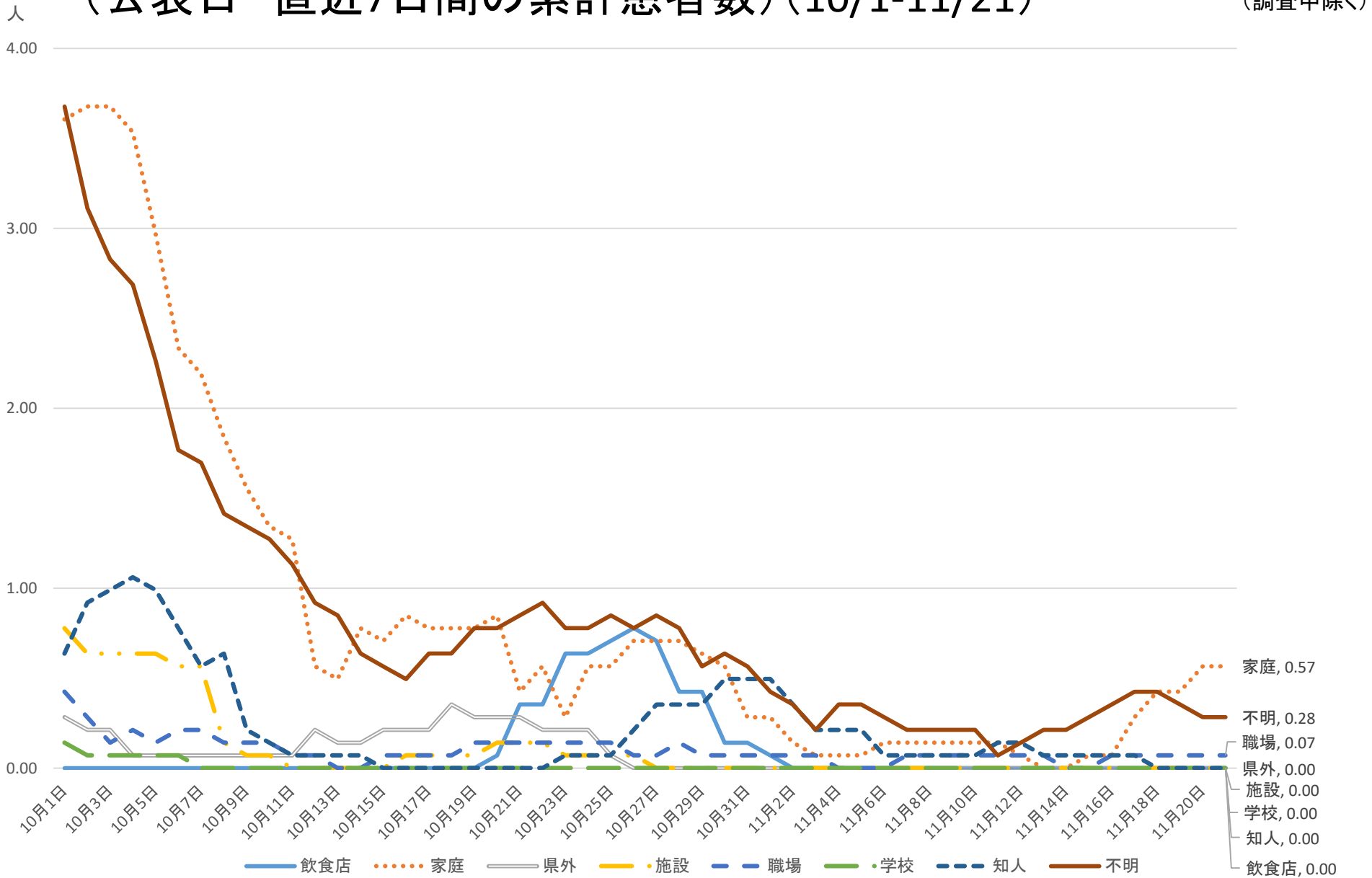
(公表日 直近7日間の累計患者数)(10/1-11/21)



5)陽性者の感染経路(10万人あたり)推移

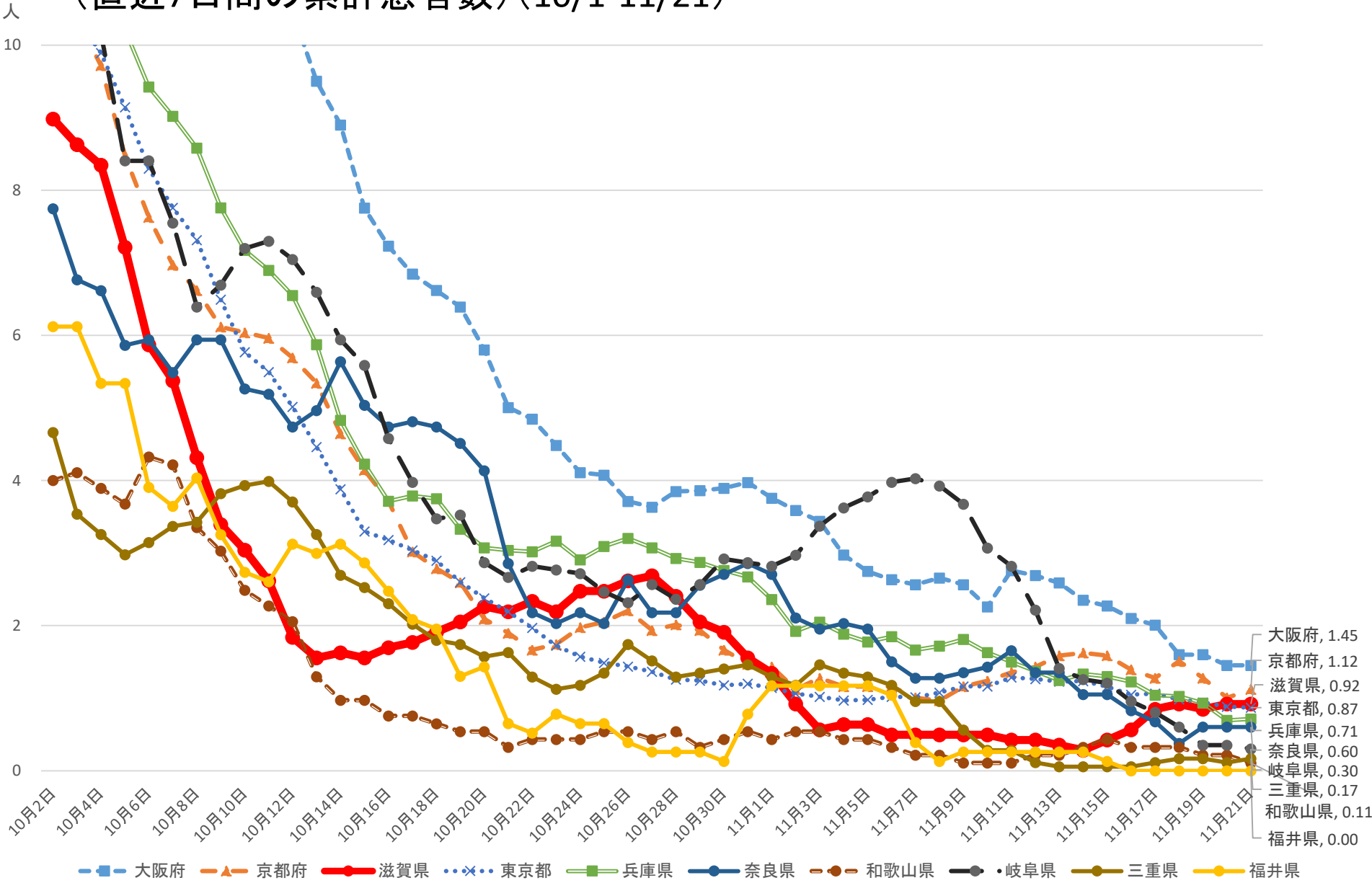
(公表日 直近7日間の累計患者数)(10/1-11/21)

(調査中除く)



6) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移

(直近7日間の累計患者数)(10/1-11/21)



2、県内の感染状況と体制について(11/21現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数	入院者数			空床数	県内 宿泊療養 部屋数	療養者数				空数
			県内発生	その他			療養者数	県内発生	その他	清掃・修理待ち	
総数	441	11	10	1	430	677	2	2	0	12	663

2) 県内の陽性者発生状況

項目	陽性者数累計	現在 陽性者数	入院中						入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中	重症	中等症	軽症						
PCR検査数 (うち行政検査分 (うちその他検査分	190,047 72,594 117,453)	15	10	0	1	9			3	2	12,313	104
	12,432 (うちPCR検査判明分 9,005)											
抗原検査数	90,383 (うち抗原検査判明分 3,427)								0 (うち自宅待機)	3 (うち自宅療養)		

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

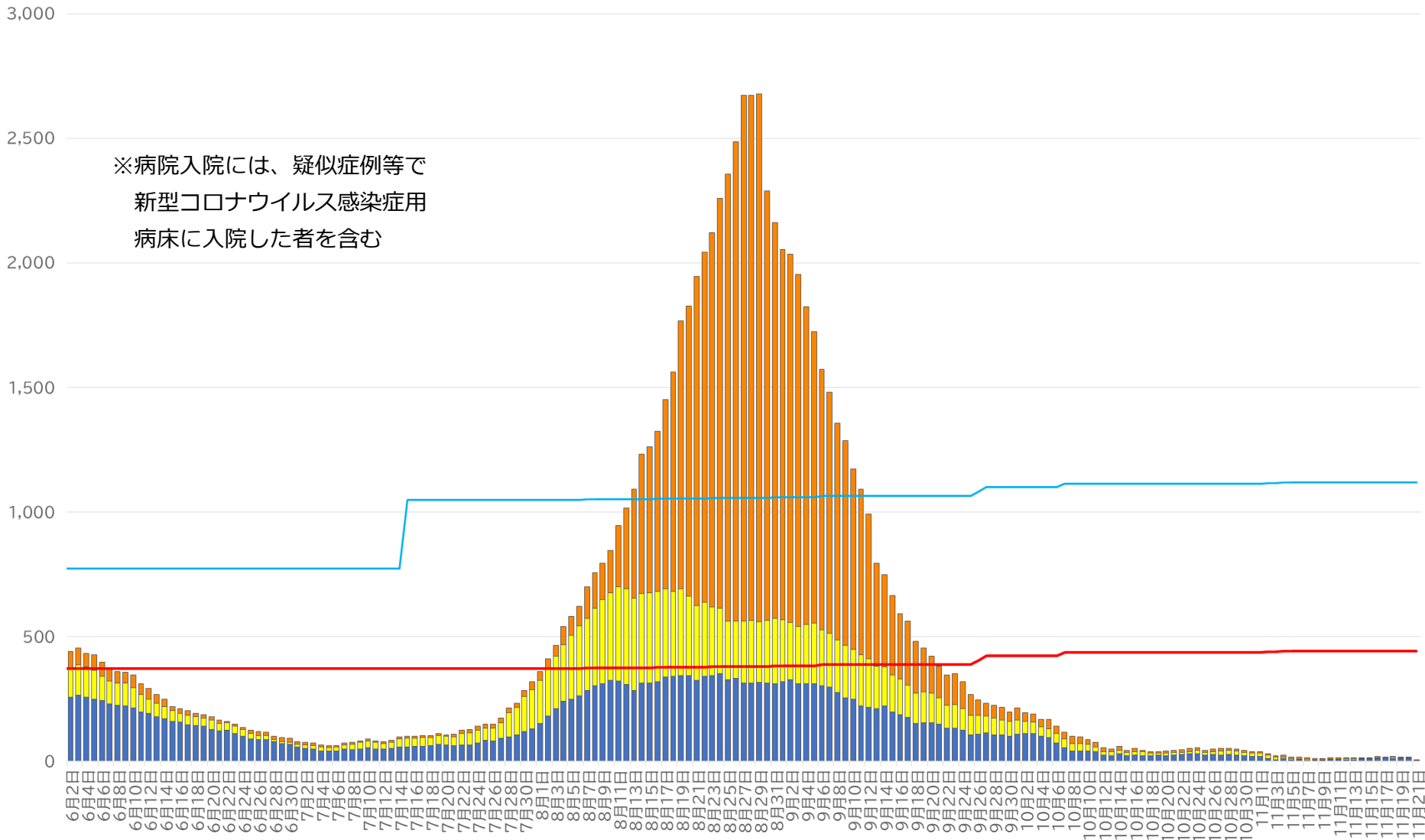
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

0人

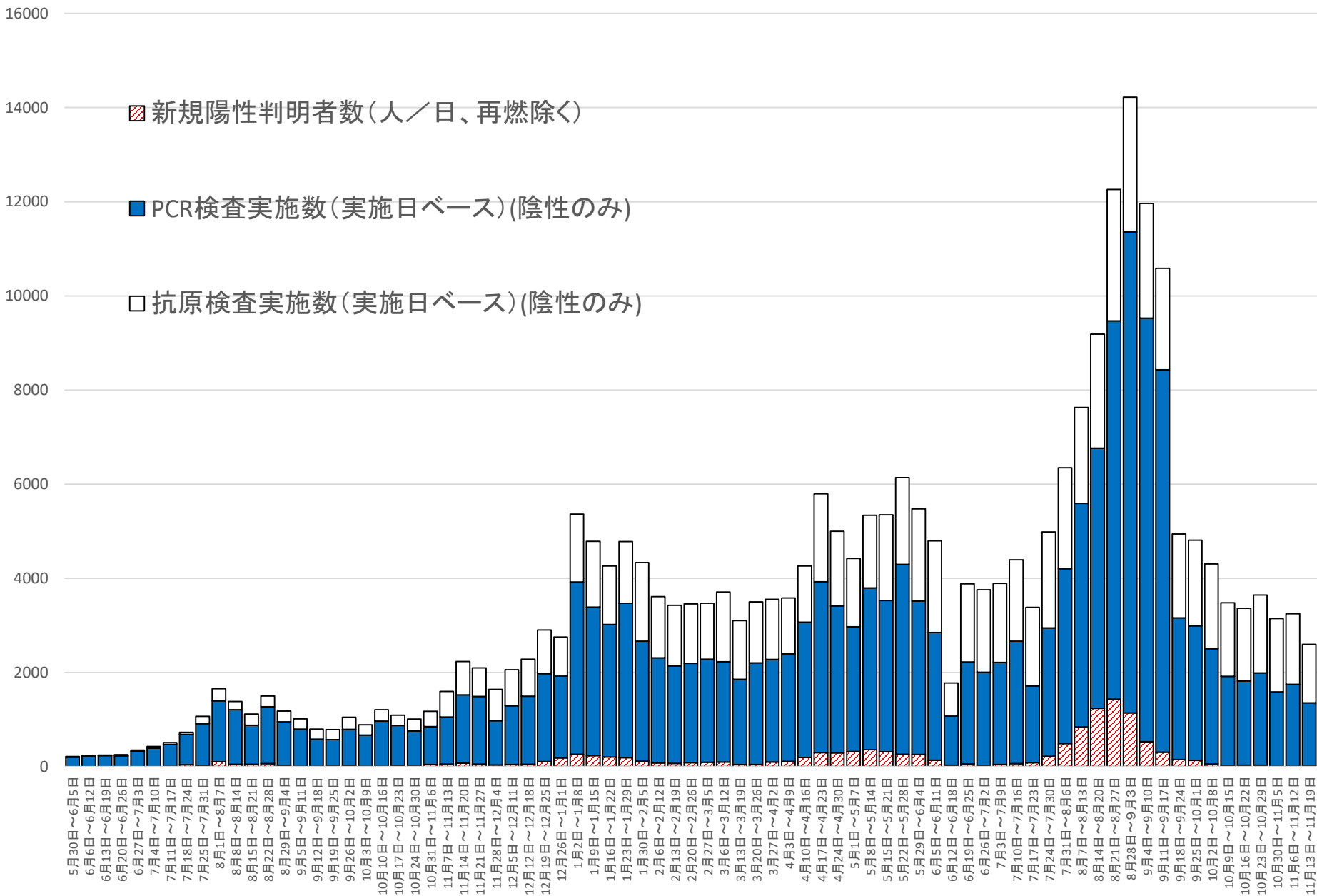
3)入院医療体制について

■ 入院者数 (人、疑似症等含む) ■ 宿泊療養者数 (人、疑似症等含む) ■ 入院予定者数等(人) — 病床数+宿泊療養部屋数 — 病床数(床)

※病院入院には、疑似症例等で
新型コロナウイルス感染症用
病床に入院した者を含む



4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



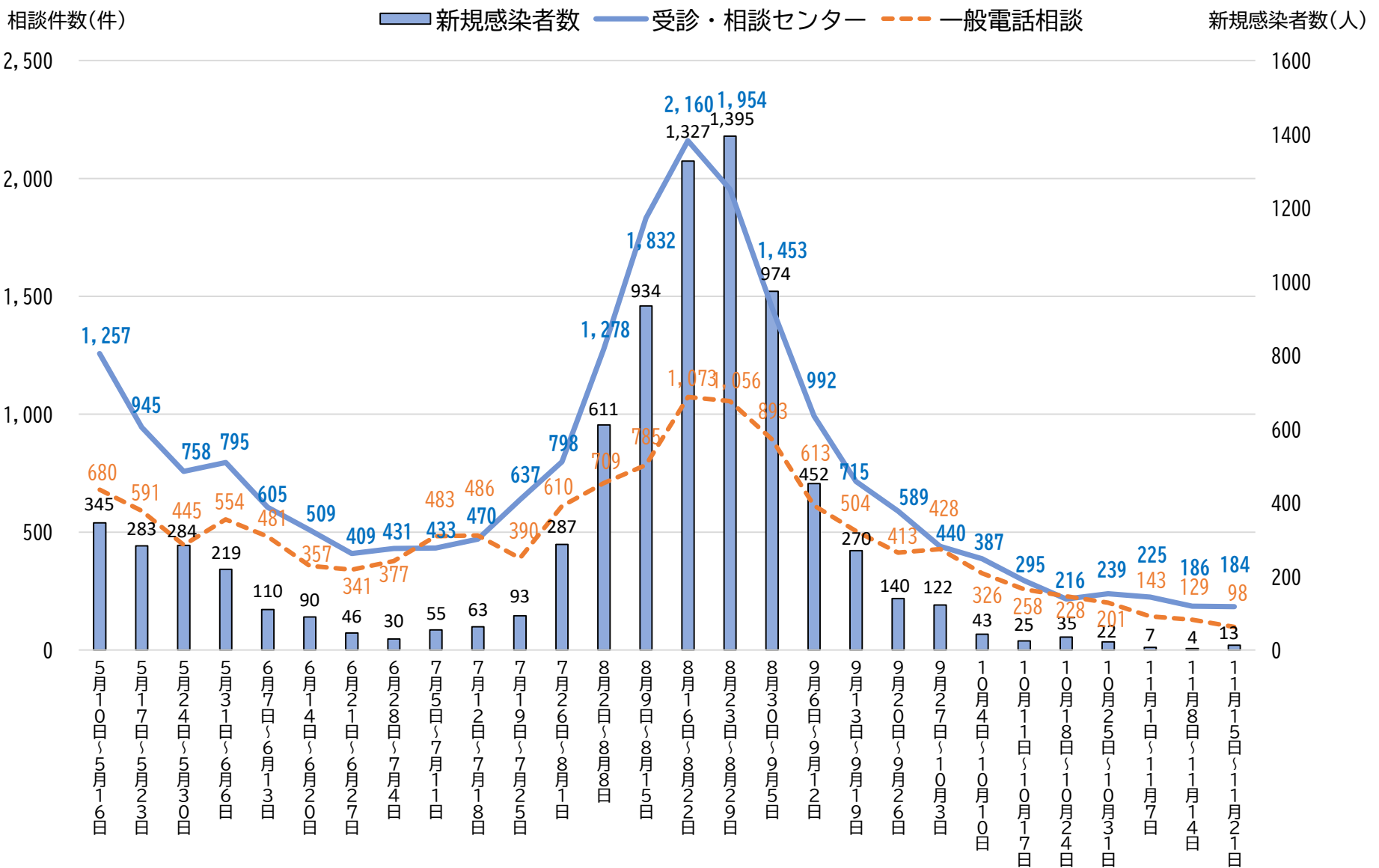
5)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均(その日までの7日間の平均)を見ると、11月19日現在の陽性率は0.5%でした。

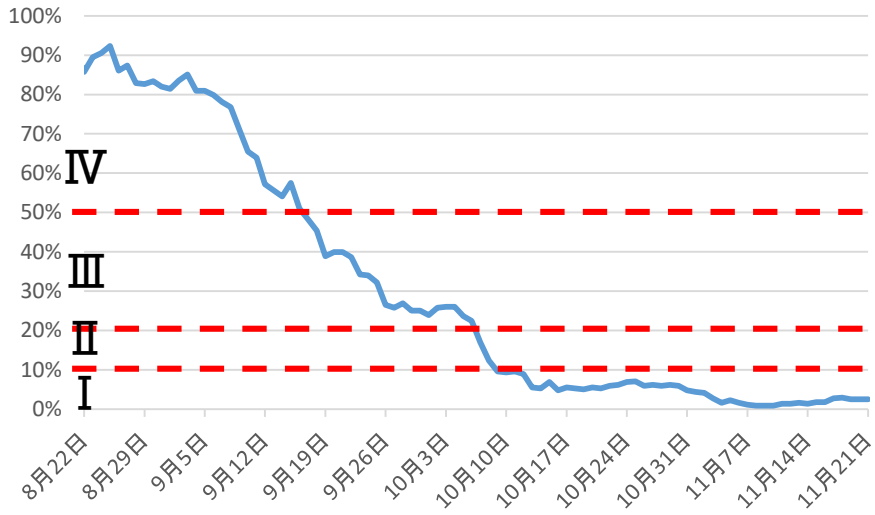
6) 相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

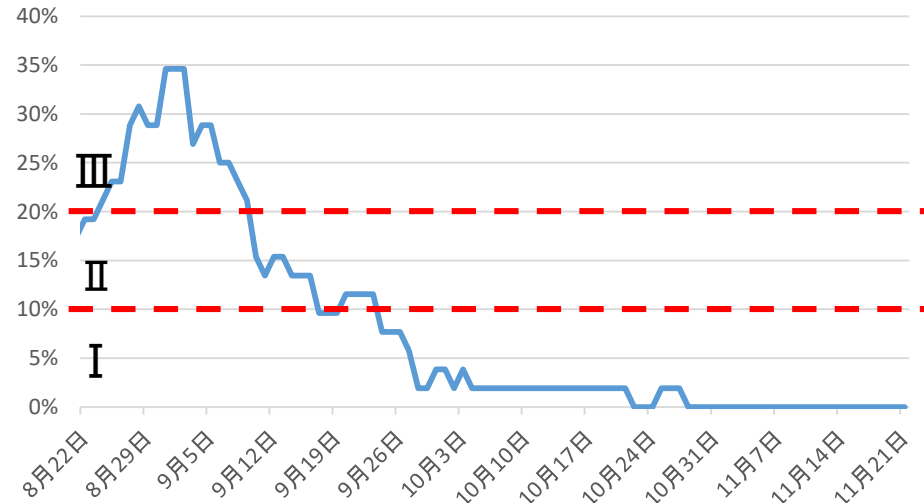


7) その他の県内の感染動向

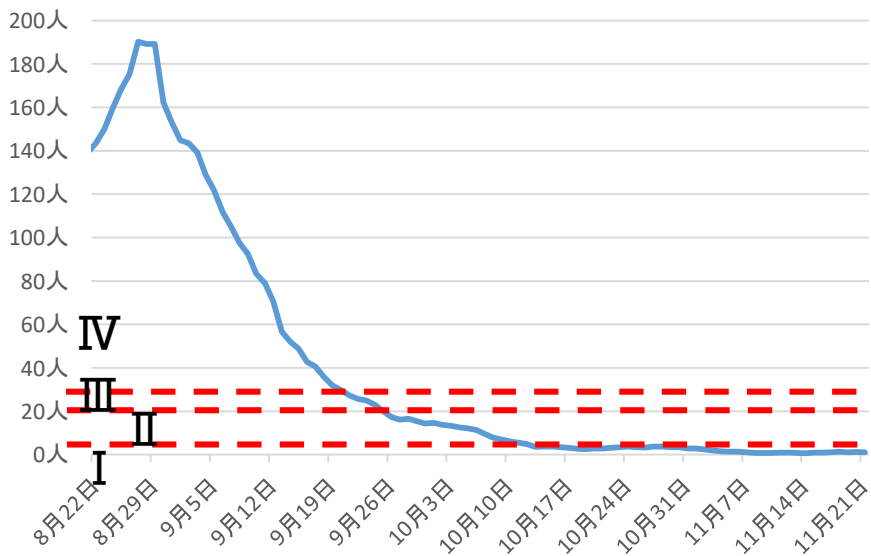
最大確保病床の占有率



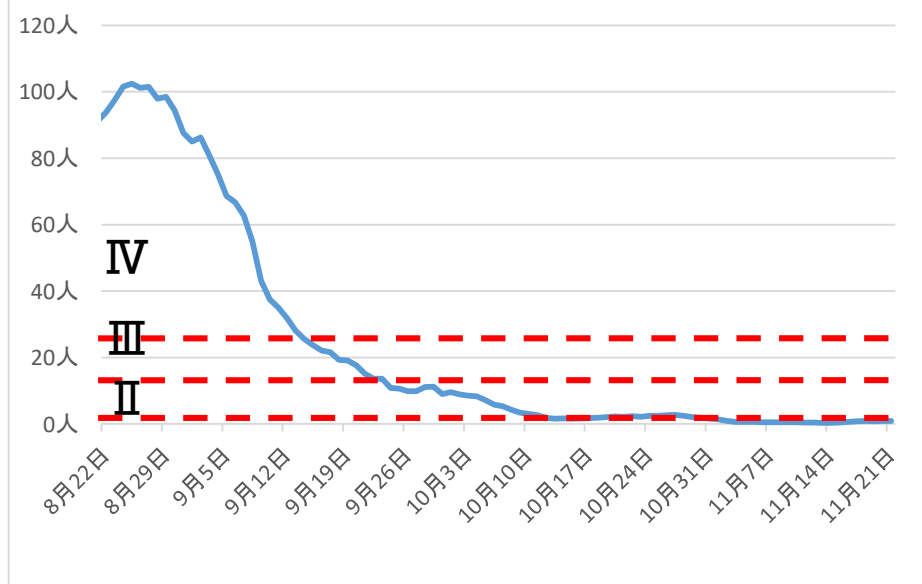
重症者用病床の最大確保病床の占有率



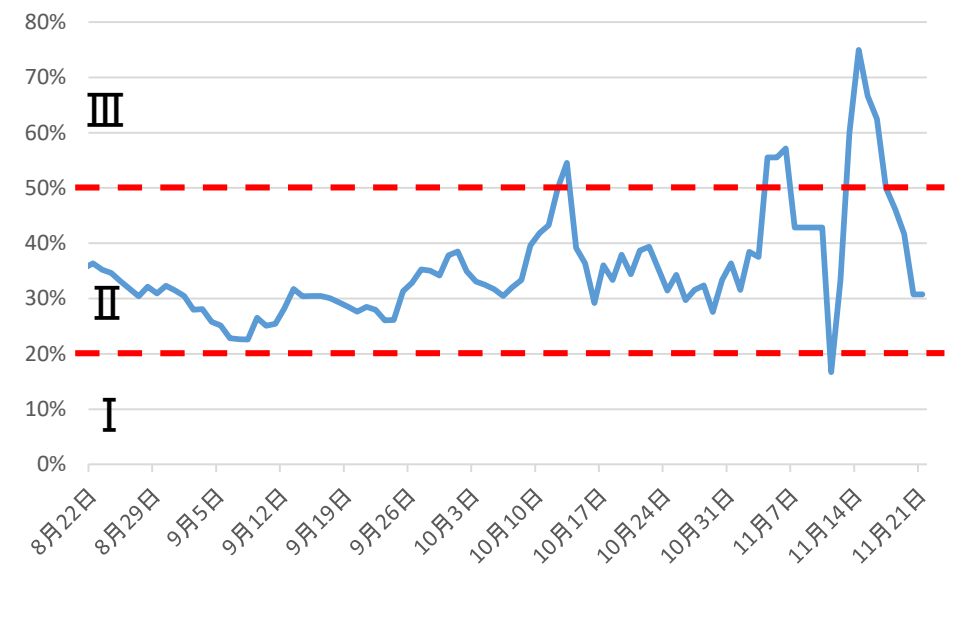
人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数



感染経路不明割合



評価(11/15～11/21の感染状況)

- 本県の今週の新規陽性者数は13人と、低い水準を維持しています。他都府県の状況を見ても、東京都や大阪府などの都市部を含めてすべての都道府県で低い水準で推移しています。
- 直近1週間における人口10万人当たりの新規陽性者数は、10月31日以降2人以下で推移しており、今年度で最も低い水準を維持しています。本県は、10月29日にステージ判断をステージⅠに引き下げましたが、その後も低い水準を維持している状態にあります。
- 低い水準にありますが、感染経路不明の陽性者が散発的に見られ、感染伝播が継続している状況にあります。
- ワクチン・検査パッケージの試行やGo To Eat再開など社会経済活動の活発化が少しずつ見られています。これから忘年会やお正月休みなどさらに社会経済活動の活性化が想定されます。現在の低い水準の感染状況を維持できるよう、継続して基本的な感染対策を徹底することが必要です。
- 特に年末に向けて、「いつも一緒にいない方」との面会や会食の機会が増えることが想定されますので、特に対策が緩まないように注意してください。また、気温が低下し屋内での活動が増加することも想定されますので、十分な換気を行うなど、密を回避する対策を徹底してください。